

PLDD（椎間板ヘルニアレーザー減圧術）

（Percutaneous Laser Disc Decompressio）

PLDDは脊椎の骨を削る椎弓切除手術に比べ、短時間で非侵襲的に椎間板ヘルニアを治療する方法です。経皮的に穿刺針をX線透視下に刺入し、髓核にレーザーを照射することによって蒸散した髓核は容量が減少し、椎間板の内圧を下げることで症状の緩和に役立ちます。針一本の穿刺で処置することが可能で組織を切らないために当日退院が可能です。ただし1回目の施術で治療効果が得られない場合は複数回の処置が必要になることがあります。それでも治療の反応性が乏しい場合は椎弓切除術などの外科的治療が必要です。



